

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 地域・高年福祉 課

1. 基本情報

701

施設名	伊丹市立サンシティホール		
施設の設置目的	高齢者をはじめとする市民の文化、教養並びに福祉の向上を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 元気、生きがい、安心の高齢者福祉		
指定管理者の名称	伊丹市シルバー人材センター (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2丁目13		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	227,000	通期の実績値 218,810

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27(上期)	H27(通期)
	来館者数 (人)		204,367	218,503	222,702	215,295	227,184	112,016
貸し室稼働率 (%)		40	54	61	65	66	60	63
講座開催回数 (回)		309	581	522	558	490	251	502
講座参加者数 (人)		6,773	12,710	11,571	9,873	9,863	5,323	10,444

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	54,539	指定管理委託料	54,539
	事業収入（講座料収入等）	3,800	事業収入（講座料収入等）	3,547
	その他	161	その他	220
	合計	58,500	合計	58,306
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	15,200	人件費	15,871
	維持管理経費	35,923	維持管理経費	35,702
	事業等経費	7,377	事業等経費	6,726
その他		その他		
合計	58,500	合計	58,299	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	7	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	383	366	343	1,178	1,233	-
	(内、使用料収入)	383	366	343	355	406	-
	市の支出	51,952	51,772	54,075	58,058	66,098	-
	(内、指定管理委託料)	49,940	49,929	51,140	53,205	54,539	-
実質経費（歳出－歳入）	51,569	51,406	53,732	56,880	64,865	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	館内外清掃は、利用者アンケートでも常に高評価を得ている。経年劣化による備品の不具合や、設備機器故障等で、職員で対応できる事は迅速に対処し施設運営に支障をきたさぬよう努めている。	A	設備機器の故障時は、速やかな報告により、運営時の悪影響を最小限に留めていた。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	日々の事業内容に合わせ円滑な運営の為に必要人員を確保している。また防火管理者も適切に配置している。	B	適正に職員を配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	避難訓練を兼ね消防訓練を年2回実施し万が一の場合に備える。	B	適正に実施している。
		避難訓練を実施しているか。	A		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	「利用者の声」に投函されている意見苦情に対し、迅速な対応を徹底している。	B	アンケート等により利用者の声を運営に取り入れ、適切に対応していた。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	魅力的な自主事業展開の為、日々創意工夫をし、利用者に満足を得ていただけるよう努力している。	B	改善意識持ち事業展開を行っていた。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	当館のHP閲覧者が増加し、情報発信のツールとして機能するようになってきた。内容の工夫と定期的な更新に努力している。	A	講座やコンサートの催しは、積極的に広報伊丹の記事依頼をしていた。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	経理処理及び収支計画について担当者及び管理者にて厳格なチェック体制のもと、適切に処理している。	B	適切に処理していた。
経理処理は、適切に行っているか。		A	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	魅力的な講座を行うため、受講者のニーズを聞くことに努めている。趣向を凝らした講座やイベントは毎回参加者から好評であった。
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年1月25日～平成28年2月25日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	施設内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。→「はい」95%	目視できるところは当然の事ながら、普段見えない所も丁寧に清掃を行うよう努力を続けていく。
	職員の接遇態度はいかがですか。→「たいへん良い」26%「良い」64%	「明るく、親切、丁寧に」を基本に明るい雰囲気づくりに努め、常に自己チェックを心がける。
回答者数	214人	利用者満足度UPを図る為、利用者の声に耳を傾け、日々改善に努める。また、ルールを守り楽しく、気持ちよく便利に利用いただけるよう努力する。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
次年度の事業計画書の提出が協定で定めた期限より遅れていた。	期限内に提出があり改善された。